



【戦評シート】

平成23年8月10日(水)	協会名： 秋田県 バasketボール協会	
場所：琴丘総合体育館(Aコート)	記入者：小納 英之 佐々木 孝	
チームA 平鹿 (秋田1位)	20-13 14-15 13-24 15-16	チームB 金井 (山形1位)

スターター	チームA： #4, #5, #6, #7, #9
	チームB： #4, #5, #7, #12, #16
ディフェンス (試合開始時)	チームA： <input checked="" type="checkbox"/> マンツーマン <input type="checkbox"/> ゾーン () <input type="checkbox"/> その他 ()
	チームB： <input checked="" type="checkbox"/> マンツーマン <input type="checkbox"/> ゾーン () <input type="checkbox"/> その他 ()

第1ピリオド、平鹿は#5 齋藤,#7 金子のインサイドを中心に、対する金井は#5 大戸のアウトサイドからの1対1を中心にオフェンスを組み立てるも、立ち上がりの緊張からなかなかシュートが決まらない。先に抜け出したのは平鹿。#7 金子のジャンプシュート、#6 柿崎の3Pで1-7とリードする。一方金井も#4 前田の連続ゴールなどで7-9と追いかける。しかし、平鹿は#5 齋藤、#7 金子がインサイドで強さを発揮し、7-15とリードを広げた。1分52秒、金井は前半1回目のタイムアウトを請求する。このタイムアウトをきっかけに、金井は#5 大戸の連続ゴールで11-15まで点差を詰めるが、平鹿も着実に得点を積み重ね、13-20で第1ピリオドを終了する。

第2ピリオド、金井は#4 前田のゴール下、#12 吉田のドライブインで17-20まで差を詰める。しかし、平鹿も着実にフリースローで加点、17-23と一進一退の攻防が続く。ここから、平鹿は#4 齋藤、金井は#5 大戸を中心に着実に加点し、28-34で前半を終了する。

第3ピリオド、平鹿は#6 柿崎の得点で先制するが、金井は#4 前田の3Pを皮切りに、3連続ゴールで35-36と一気に1点差まで詰め寄る。平鹿は#5 齋藤のポストプレイ、#12 柴田の1対1などで37-43と再びリードを広げるが、残り2分40秒、金井は#4 前田の1対1で、44-43とついに逆転に成功する。平鹿は46-43となった2分2秒、後半1回目のタイムアウトを請求し、#7 金子、#5 齋藤の得点で必死に食らいつく。しかし、金井は#12 吉田、#7 會田が外角からシュートを沈め、52-47とさらにリードを広げ、第3ピリオドを終了する。

第4ピリオド、金井は#12 吉田、#5 大戸らの得点で引き離しにかかるが、平鹿も#7 金子、#5 齋藤の得点で、63-57と一進一退の攻防が続く。残り3分58秒、金井は後半1回目のタイムアウト。タイムアウト明け、平鹿は#4 齋藤が3Pを沈めるが、金井も#7 會田の1対1で得点し、65-60とその差を詰めさせない。平鹿はタイムアウトを連続してとり、#7 金子のポストプレイで66-62と食らいつくが、反撃もここまで。最後は金井がフリースローを着実に沈め68-62で試合終了し、全国大会出場を決めた。

注意：文面には試合内容のみご記入下さい。